

経営比較分析表（令和3年度決算）

岐阜県 各務原市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ad	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	59.70	83.16	83.60	2,557

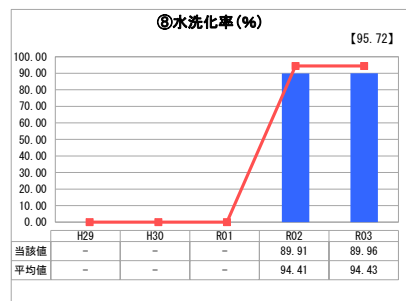
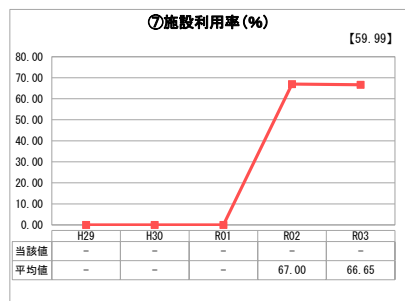
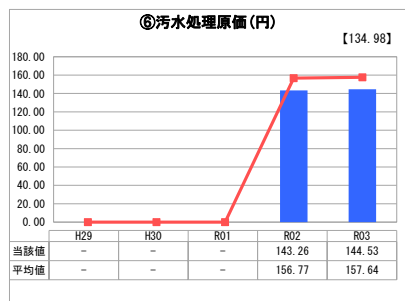
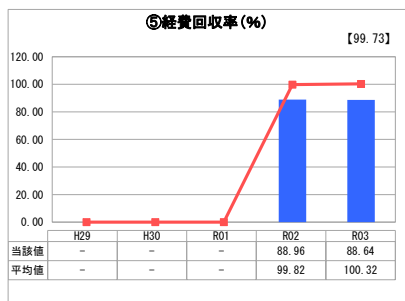
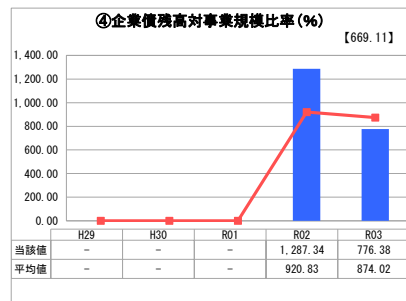
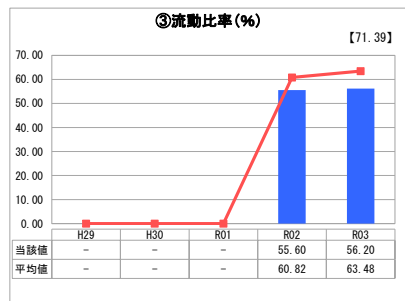
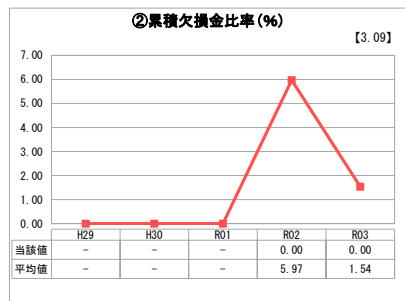
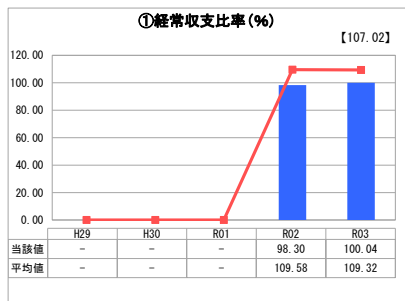
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
146,136	87.81	1,664.23
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
121,111	26.36	4,594.50

グラフ凡例

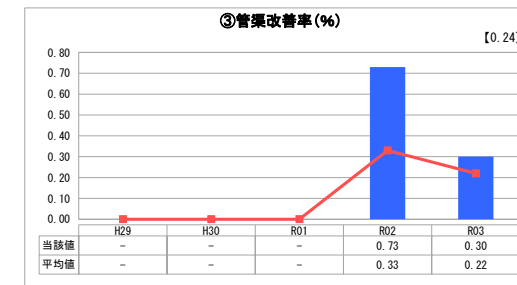
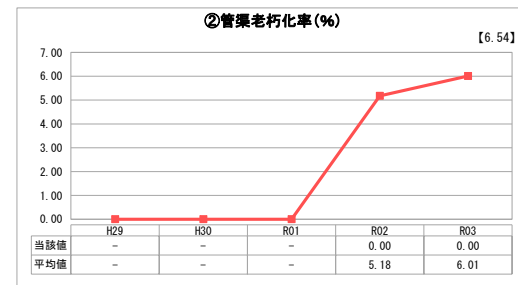
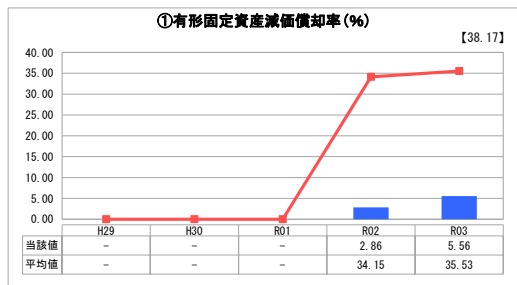
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市の下水道事業は、令和2年度より公営企業会計に移行した。

① 経常収支比率は日々の経営活動による収入で当期の運転資金を賄えているかの指標であるが、100.04%と100%を超える数値であり、類似団体を下回っているものの懸念のない水準である。

② 累積欠損金はない。

③ 流動比率については、類似団体と比較して数値がやや低い。これは建設改良費等の財源に充てるため多くを企業債により調達しているためである。企業債について適切な管理が必要である。

④ 企業債残高対事業規模比率については、類似団体を下回っている。今後も適切な企業債管理と使用料確保に努める。

⑤ 経費回収率は88.64%と100%を下回っており、汚水処理に係る費用が、繰入金により賄われている状況である。これは令和4年4月の下水道使用料の改定により改善される見込みである。

⑥ 汚水処理原価については、今後も建設費や維持管理費等に留意しつつ、効率化に努める。

⑦ 施設利用率については、普及活動により毎年増加しているが、類似団体の平均値を下回っており、更なる取組みが必要である。

2. 老朽化の状況について

本市は流域下水道のため、維持管理すべき施設は管渠のみ(マンホールポンプも含む)である。今年度の管渠改善率は0.30%であるが、布設されている管渠の大半が築30年前後と老朽化が進んでいないためである。

今後もストックマネジメント計画に基づき、順次管渠等の更新を進めていく予定である。

全体総括

本市は、令和2年度より公営企業会計へ移行した。今後は経営戦略に基づいた資金管理や、下水道使用料の更なる見直しを行い、今後の事業への投資の精査し、計画的かつ効率的な下水道事業経営に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。